

平成23年度  
モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度  
越谷市大沢北小学校 実施結果概要

（様式 3-2：実施結果報告書）

実施結果報告書

|   |     |         |      |        |     |
|---|-----|---------|------|--------|-----|
| 1. 学習名称：多様な視点で社会問題を考える授業を目指して<br>～話し合い活動を中心に～   |     |         |      |        |     |
| 2. テーマ：「高速道路無料化政策」について多様な面から考える   |     |         |      |        |     |
| 3. 実施教科：社会科   |     |         |      |        |     |
| 4. 関連単元：わたしたちと政治  |     |         |      |        |     |
| 5. 実施単元数：1  |     |         |      |        |     |
| 6. 学年   | 6年生 | 7. クラス数 | 1クラス | 8. 生徒数 | 33名 |
| <p>9. 実施内容</p> <p>「高速道路無料化政策」について、メリット・デメリットの両面を学習した上で、自分が賛成・反対どちらの意見なのかを考えさせた。</p> <p>①高速道路無料化政策のメリットを知る</p> <p>②高速道路無料化政策のデメリットを知る</p> <p>③自分の立場を明らかにした上で、討論のための準備をする<br/>(多様な資料をもとに、自分の意見の補強をする)</p> <p>④クラス全体で「賛成派」「反対派」に分かれて、討論を行う</p> <p>⑤討論の内容をもとに、どの視点で自分がさらに調べたいかを定める<br/>(環境・経済・渋滞・東北復興支援)</p> <p>⑥それぞれのグループに分かれて、話し合いをする</p> <p>⑦グループでの結論を、クラスで共有する</p> <p>⑧最終的なクラスの意見をまとめる</p> <p>児童は、様々な視点から、高速道路無料化政策について考えることができた。渋滞がどのような影響を及ぼすか、環境にはどうか、復興支援のためにはどうか等、自分たちなりに調べ、話し合い、結論を出すことができた。また、今後の自動車の使い方について言及する児童もいた。</p> |     |         |      |        |     |

10. 学習の流れ

| 時数   | 学習活動・学習内容   | 評価規準   |
|--|---|--|
| 1  | ①26600円で何がしたいか、できるか考える。<br>②26600円が越谷からユニバーサルスタジオジャパンまで高速道路を使って行くために必要な金額であることを知る。<br>③高速道路無料化政策の概要を知る。<br>④高速道路無料化政策によってどんないいことがあると思うか、予想する。   | 【関】 高速道路無料化政策について興味関心をもって学習に取り組んでいるか。<br>【知】 高速道路無料化政策のメリットについて理解することができているか。(ワークシート)                                      |
| 2  | ①ミニカーを並べてつくった模擬渋滞から、渋滞を体感する。<br>②高速道路休日1000円割引が行われた時のニュース映像から、渋滞の状況を確認する。<br>③高速道路を無料化することによって起きるデメリットについて調べる。<br>・CO2の増加<br>・渋滞による影響<br>④ 1, 2時の内容から、自分が高速道路無料化に対してどういう立場なのか、1回目の意志決定を行う。<br>⑤学習問題を作る。 | 【知】 高速道路無料化政策のデメリットについて理解することができているか。(ワークシート)<br>【思】 高速道路無料化政策について、メリット・デメリットの両面からとらえ、自分なりに賛成か反対か根拠をもって決めることができるか。(ワークシート) |
| <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         《学習問題》賛成派・反対派に分かれて、討論をしよう！                     </div> |   |  |
| 3  | ①前時に決めた自分の立場を確認し、調べることを決める。<br>②資料を調べる。<br>③調べた資料を、次時の話し合いに生かすことができるようにまとめる。<br>④次時は調べた資料をもとに話し合いをし、さらに理解を深めていくことを伝える。  | 【資】 自分の決めた立場について、いろいろな視点の資料をもとに調べることができたか。<br>(ワークシート)   |
| 4<br>本<br>時  | ①前時に調べた資料と、自分の話し合いの材料を確認する。<br>②高速道路無料化政策についての話し合いを行う。<br>③話し合ったことをもとに、自分の立場をもう一度考え、意志決定をする。  | 【関】 高速道路無料化政策について、自分なりに意見をもって討論に参加しているか。(発言)<br>【思】 高速道路無料化政策について、話し合ったことをもとに、自分なりの根拠をもって立場を決めているか。(ワークシート)                |
| 5<br>6   | ①グループの確認をし、本時では閣議提案をするための準備をすることを知らせる。<br>②グループごとに資料を調べたり、話し合いをしたりし、閣議提案のための準備をする。  | 【資】 高速道路無料化政策について、前回の話し合いをもとに、グループで根拠となる資料を調べているか。(観察・ワークシート)  |
| 7  | ①閣議提案を行う。   |  |